

渋滞解消を要請へ

兵ト協海コン部会 全ヤードに

兵ト協海上コンテナ部会(佐賀里隆之部会長)は9月17日、県トラック総会会館で役員会を開き、初会合が不調に終わったため再度開いた渋滞対策委員会の協議結果を報告した。それによると、全ターミナルを対象に渋滞解消の申し入れを行う一方、申し入れに先立って部会員アンケートを実施すると決め、役員会もこの方針を承認した。

渋滞対策委は7月下旬に初会合を開いたが、意見が一致せず実質「流会」となったため、佐賀里部会長(協栄運輸)が司会・進行役の「議長」として参加することで9月に入ってから再度開催した。

9月12日に開いた渋滞対策委では、ターミナルへの申し入れ活動を実施することで一致、申し入れ先はバン



兵ト協海コン部会の役員会

ドを含めた全ヤードを対象とする決めたという。ただ、全ヤードへの申し入れは長期間に及ぶとして、渋滞のひどいヤードを優先する。申し入れに先立って全部会員にアンケートを実施、その意見を申し入れの参考に

する。アンケートの内容は今後詰めることにした。

役員会ではターミナルへの申し入れ活動を承認、優先的な申し入れやアンケートの実施についても渋滞対策委の決定を認めた。これを受けて佐賀里部会長は「アンケート内容は渋滞対策委で作成を進めている。申し入れの優先順位も今後詰めた。いずれも固まれば役員会に改めて諮る」と述べた。

申し入れ活動について、佐賀里部会長は「今回は全ターミナルを対象とするが、個別の申し入れはこれまで度も度々実施している」と指摘、一部の部会員から出ていた「何もしていない」との批判は当たらないとの考えを強調した。

役員からは「申し入れには渋滞対策委の委員も参加するのか」と質問があったが、佐賀里部会長は「正副部会長ら三役とプラスアルファ程度を考えている」と答弁、メンバーは役員を中心とする考えを示した。